

「岡山きびの会」

《10月例会のお知らせ》

次回の10月例会では、川崎医療福祉大学教授・佐々木正美先生のご講演をいただきます。

ぜひ、ご参加くださいますよう、ご案内申し上げます。

◎ 平成14年10月20日(日) 13時～

◎ 於・岡山県総合福祉会館

岡山市石関町2-1 (TEL. 086-226-3501)

— 駐車場は各自で確保してください —

◎ 13:00～受付 13:30～開会 17:00終了

【前半】 **講演**

『引きこもる心と

向き合うには』(仮題)

講師 **佐々木正美先生**

川崎医療福祉大学教授

専攻 = 児童青年精神医学, ライフサイクル精神保健, 医療福祉学

著書 = 「児童精神医学の臨床」「自閉症療育ハンドブック」, 他

【後半】 《グループ別話し合い》

心を開いて話し合い, 励まし合える仲間を見つけましょう。

情報を交換し, 対応の仕方, 心構えなどをもらいましょう。

〈参加費〉 ・月例会費 1000円

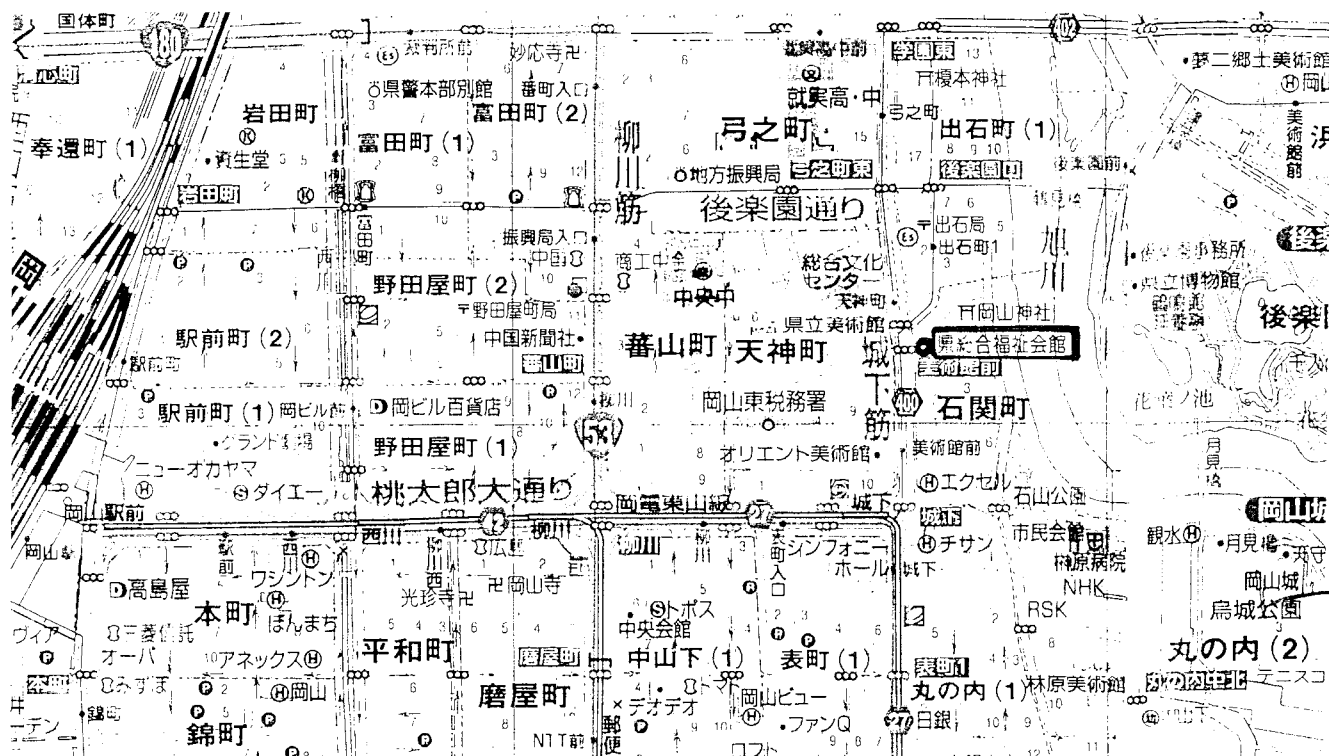
・初参加の方は, 別に入会金が1000円要ります。

[今回の講演のみ希望の方は, 入会金は不要です。]

※「岡山きびの会」の連絡先が次のように変わりました。

〒701-0111 倉敷市上東1244-9 能登教育コンサルタント事務所

TEL. 090-3881-9345 (きびの会専用携帯電話)



一緒に勉強しませんか

① 『社会的引きこもり』

— 98年 斎藤環著 PHP新書 ¥660

会員の多くが、大いに参考になり共感できると言っています。
月例会で、一緒に読んで話し合うグループも設けたいと思います。

② 『ひきこもり救出マニュアル』

— 02年 同著 PHP研究所 ¥2100

「Q&A」形式で、あらゆる場面への対応の仕方が書かれています。

③ 堂野博之さんの講演テープとビデオ

〔『あかね色の空を見たよ』の著者、同名映画は文部省特選〕

7月例会で、堂野博之さんの講演（5年間の不登校体験から立ち直り
現在にいたるまでの体験）は感動と励ましをあたえてくれました。

- ・講演テープを聞きたい方は例会時にご連絡ください。
- ・また、講演ビデオ(映画制作運動中、於・井原市)もあります。

※ 《女子たまり場》

10月開所を目指しています。参加ご希望の方はご連絡ください。

◀ 8月例会 報告 ▶

K H J 岡山吉備の会各グループのまとめ

平成14年 8月18日

B 対話ができない

- ・ 自分の気持ちを言っても言ってもおさまらないのはどうしてだろう。どうゆうふうに関いたらおさまるのだろう。
- ・ 親と全く顔を合わさない。姿を見せない。部屋へ鍵を掛けてしまっている子はどうしたらいいのだろう。

D 仕事

- ・ この会に出席することで、親自身も精神的に支えられている。よい情報や学ぶものがあり、子供への接し方が変わってきた。
- ・ グループの分け方もいろいろに変わっていき、多様な人の話が聞けるので、この会の運営は非常によい。とにかく長つづきしたい。
- ・ 共通して、子どもが内向的で、対人関係が苦手なために、仕事が続きにくい。パン製造とか、家族単位やごく内輪の人間関係の中でできる仕事が何かないかといういろいろ考えている。
- ・ 本人グループに出会えて、友達ができて、とてもよかった。子どもは楽しみに参加している。(このグループの中の子供3人が本人グループ、たまり場で交流している。)

E 神経症状を改善

- ・ 皆さん、子供さんの神経症状の事で悩んでおられました。
- ・ その中で一番の悩みは、長時間の手洗い等の神経症状でした。
- ・ 病院へ行っておられる方、行っておられない方がおりましたが、中々これという話し合いはできませんでした。
- ・ 症状的には軽い方が多かったです。(外出もOK)

G 本人グループ

- ・ 今回最初はたまり場について話し合った。たまり場の目的は、人との交流であり、関り方を学ぶことであることをみんなで確認した。
- ・ たまり場で何をやっていくかということは、これからゆっくりみんながそろった時に(今回、リーダー格の佐々木さんが不在なので)まとめていきたい。
- ・ 後は、芸能情報等で大変盛り上がった。とても楽しい会だったと思う。

※A 不登校, C 外出できない, H 暴力に関して 以上のグループは今回該当者なし。